

計画主旨説明書

1 委託名称

千葉県立川戸中学校エレベータ設置実施設計業務委託

2 目的

障がいを持つ児童生徒が安全かつ円滑に学校施設を利用できるようにするために、エレベータ実施設計を行い生活環境の改善を図る。

3 計画留意点・その他条件等

- ・現地調査及び打合せを行い、改修場所に適した改修方法を検討すること。
- ・現地調査については、原則として学校関係者の立ち会いのもと行うこと。
- ・現地調査した結果は、写真等を用いて整理し、現地調査報告書（諸室段差部分含む）を作成する。なお、現地調査報告書は着手後 60 日以内に作成し、監督職員に提出すること。
- ・工事に先立ち、概略工程表及び総合仮設計画図の作成を行う。その際には、工事中の仮設・搬入計画等を十分に検討すること。
- ・耐久性、安全性に配慮した設計内容とすること。
- ・バリアフリーの設計にあたって、廊下と諸室への段差を解消するよう計画すること。

4 主な実施設計内容

A 校舎

A-1 エレベータ設置

外付け及び内付けエレベータを設置する。

【建築】

- (1) 「千葉県福祉のまちづくり条例」及び「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー新法）」の建築物移動等円滑化基準に対応させた 11 人乗り機械室レスエレベータを設置する。
- (2) 既存校舎の既存遡及箇所を調査を行ない、遡及箇所について改修の検討をすること。（既存不適格調書の作成を要する）
- (3) 内付けエレベータ設置に伴い、既存校舎への影響を検討すること。
- (4) 杭の種別は、原則回転工法による鋼管杭とし、3 社を検討すること。
- (5) エレベータから昇降口、正面玄関及び屋内運動場への動線にスロープ、手すり等の設置を検討すること。

【電気設備】

- (1) 建築工事に支障となる電気設備を改修する。また、電源を必要とする機器を確認し、電源供給をすること。
- (2) 必要に応じて、工事中の電気設備の仮設工事計画を立てること。
- (3) エレベータの設備容量を確認し、幹線サイズの計算書を作成・提出すること。
- (4) 建築工事との取合いを十分検討し、切回し等過不足のないようにすること。
- (5) エレベータ設置に関連する既存設備の不具合及び、各法令で不適合がないか確認し、対応を検討すること。
- (6) 校内LAN設備 (cabinet)・庁内ネットワーク設備 (CHAINS) 並びに電話等の通信線路の引込線について、関係機関と協議のうえ、移設計画を立てること。
- (7) 改修内容について消防局と協議を行い、設計に反映させること。なお、協議内容について協議書を作成し提出すること。

【機械設備】

- (1) 建築工事に支障となる機械設備を改修する。
- (2) 必要に応じて、工事中の機械設備の仮設工事計画を立てること。
- (3) 建築工事との取合いを十分検討し、切回し等過不足のないようにすること。
- (4) 【建築】で定める以外のエレベータ仕様は、公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）及び下記を標準とし、これによりがたい場合は監督員と協議の上決定すること。

用	途	乗用兼車椅子用
方	式	ロープ式
積 載 量 定 員		750 kg、11 人
速	度	45m/min
停 止 階 数 ・ 出 入 口		3 箇所 1 方向
仕 様	乗 場 扉	鋼板製、面一大型防犯窓付（1 階のみ）※、遮煙機能付（全階） ※職員室が 1 階以外の場合は監督員と協議
	そ の 他	車椅子仕様、視覚障害者仕様、 音声合成オートアナウンス及び表示（各種管制運転表示共）、 戸開走行保護装置、外部インターホン、パーキングスイッチ付、 停電時自動着床装置、火災管制運転、地震時管制運転（P 波、S 波）、冠水管制運転、雷サージ対策付、高調波対策付、遠隔監視 機能用インターフェイス、非常放送スピーカー対応（消防適合品） ※、耐震クラス A (14)

※既存施設の状況に応じて検討すること。

- (5) エレベータ設置に伴い、建築基準法等の関係法令に適合するか確認すること。
- (6) エレベータメーカーよりヒアリングした寸法等一覧表に基づき、原則全社が設置可能となるシャフト内寸法とする。